

国際交流委員会 2025 結果および 2026 計画・組織

2026 組織 計 5 名 順不同・敬称略

メンバー	氏名	理事/ 会員	所属・メールアドレス
委員長	五月女 由紀子	理事	杉野服飾大学
事務長	未定		
委員	上田 哲也	理事	上田学園理事長
	中村 茂	理事	元神戸松蔭女子学院大学
	土屋 淳二	理事	早稲田大学
	菊田 琢也	会員	昭和女子大学

活動報告

目標	ファッションおよびファッションビジネスに関係のある海外留学、海外での教育事情、および日本における国際的な、学者・書籍・論文・文化・価値観などを討議して、学会内に発信、交流に務める。その結果から、学会の再構築、活性化に寄与する
2025 結果	<p>オンライン (ZOOM) 会議</p> <p><u>①2025 年 8 月 20 日 (水)</u></p> <p>●2025 年度から新設された上田女子服飾専門学校の 4 年制新コース「インターナショナルクリエイティブ学科パリ留学コース (定員 25 名) の概要紹介：副校長大槻剛先生より 日本で基礎と応用教育後、パリ留学とインターンシップ 1.5 年、パリ「AICP (アイセーペール Académie Internationale de Coupe de Paris)」への留学、モデリスト養成を目的とし、後半の半年間は現地入ブランド等でインターンシップ、 学位・資格取得：高度専門士(日本)、AICP 校学位(レベル 6)フランス国家公認認定証 中村委員から AICP についての歴史的な補足説明があり、1830 年代に設立された伝統ある服飾専門校であり、モデリスト養成校として国際的評価が高いことなども説明があった。</p> <p><u>②2026 年 1 月 30 日 (金)</u></p> <p>●昭和女子大学環境デザイン学科「ファッションデザインマネジメントコース」におけるカリキュラム改変と国際交流の現状を報告 (専任講師菊田琢也委員) まだ検討中であるが、学科の他のデザイン系コースとの連携を踏まえながら、服作りに専念する家政学科の方向性から脱却し、時代性や社会性を捉えつつ服のポイントやデザインを言語化できる教育を目指したいと報告がある。</p> <p>●中村委員から専門学校と大学の国際交流の違いを比較して GAKKAI PRESS に投稿をする提案がある。上田理事長からは現在留学前ではあるが学科の目的などは伝えられるとのこと。</p> <p>●五月女より、中国との政治的関係において、留学生ビザが出にくいのではないか？という問題を提起しており、2026 年度の結果は来年度の結果を委員より確認していきたい。</p>
2026 計画	<p>●組織を改編し、委員数を増加して情報交換を活発化していきたいと考えている。次回の会議までに理事からの推薦を検討していきたい。</p> <p>●上記の上田女子服飾専門学校にて 2025 年から開始した AICP フランス留学とモデリストの国家資格取得についての報告、他の学校の国際交流事情を聞き、専門学校と大学との比較をまとめていく予定である。</p> <p>●委員会の外との情報交換として若者世代に人気の韓国大学との交流やイタリアのモデリスト教育の調査なども提案をいただいております進めていきたい。</p>